

## 「生命科学・医学系研究に関する情報公開文書」

研究機関名：東北医科薬科大学

受付番号	2025-2-100-0000
倫理審査（初回審査）	2026年2月19日
研究課題名	ロボット支援下胃切除術における8mmポート孔筋膜閉鎖手技の安全性と有用性に関する後ろ向き観察研究
研究の対象	・2022年1月～2024年12月に当院で胃癌に対して根治切除を施行した患者
研究の概要 （試料・情報の利用目的及び利用方法）	<p>研究目的：ロボット支援下胃切除術では8mmポートが標準的に使用されていますが、8mmポート孔においてもポートサイトヘルニアが生じる可能性が報告されています。当科では、特殊な器具を使用せずに安全かつ簡便に8mmポート孔の筋膜を閉鎖する手技を考案し、臨床に応用してきました。本研究の目的は、本手技の安全性および有用性を、既存の診療情報を用いて後ろ向きに検討することです。</p> <p>研究の方法：本研究は、既存の診療情報を用いた後ろ向き観察研究です。新たな検査や治療、追加の侵襲を伴う行為は行いません。診療録から、年齢、性別、手術内容、術中・術後経過（ポートサイトヘルニア、出血、慢性疼痛など）に関する情報を収集し、解析を行います。</p> <p>個人情報の保護：試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。また、この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、論文等の発表から10年間は保管され、その後は患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めに申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄（データの削除、印刷物はシュレッダー等で処理）いたします。</p>
研究期間及び 試料・情報の 利用開始予定日	2026年3月7日
調査データ該当期間	2022年1月1日～2025年12月31日
研究に用いる試料・ 情報の種類	情報：患者さんの診療録から以下のデータを収集させていただきます。 背景因子：年齢、性別、BMI、併存疾患、手術時期 ポートサイトヘルニアの有無、術中臓器損傷の有無、創部感染の有無、慢性疼痛の有無、ポート部出血・血種の有無
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

	<p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>【照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先】</p> <p>東北医科薬科大学病院 消化器外科  連絡先担当者：澤田 健太郎  研究責任者：澤田 健太郎  〒983-8536 仙台市宮城野区福室 1-12-1  電話番号：022-295-1221(代)</p>
--	---

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：上記「お問い合わせ先」

#### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<個人情報保護法第 21 条>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

当院が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、当院の職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。診療情報に関する保有個人情報については、東北医科薬科大学病院 医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「個人情報保護方針」をご覧ください。

【東北医科薬科大学病院 個人情報、患者さんの権利】

[https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/about/privacy\\_policy.html](https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/about/privacy_policy.html)

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<個人情報保護法第 33 条>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合